

ろう教育部会 4名
肢体不自由教育部会 2名

3. 特殊教育教育課程地区別研究集会

(1) 目的

盲学校、ろう学校および養護学校における教育課程に関する指導上の問題点について、地区別、部会別に研究協議し、その解明を図り、もって教職員の指導力向上と学習指導の改善に資する。

(2) 主催 文部省

(3) 期 日 昭和45年8月24日～26日

(4) 会 場 山形県

(5) 参加者 盲学校部会 4名
ろう学校部会 4名
養護学校部会 3名

4. 特殊教育教育課程研究発表大会

(1) 目的

特殊教育教育課程地区別研究成果を全国的規模において発表交換し、特殊教育諸学校の教育課程に関する諸問題を研究協議して学習指導の改善に資する。

(2) 主催 文部省

(3) 期 日 昭和45年11月25日～27日

(4) 会 場 国立教育会館

(5) 発表校 郡山盲学校（中学部）
郡山養護学校（中学部、高等部）

5. 特殊教育学校寮母等講習会

(1) 目的

盲学校、ろう学校および養護学校の寄宿舎における幼児児童生徒の指導上の問題点について研究協議し、その解明を図り、もって寮母および舎監の指導力向上に資する。

(2) 主催 文部省

(3) 期 日 昭和45年8月26日～28日

(4) 会 場 宮城県

(5) 参加者 8名

第11節 特別教育活動・学校行事等

〔義務教育課〕

1. 特別教育活動

特別教育活動の教育的意義を理解し、充実した指導が行なわれるよう、あらゆる機会をとらえて指導してきた。

特別教育活動の改善充実のためのおもな行事ならびに指導の重点は次のとおりである。

(1) 小学校教育研究協議会特別教育活動部会

① 研究主題

ア. 特別活動の全体計画をどのように作成すればよいか。

イ. 特別活動において、児童の個性の伸長をはかるためには、どのように指導すればよいか。

特にクラブ活動について

② 主催 県教育委員会、県小学校教育研究会
関係市町村教育委員会

③ 期 日 地区、昭和45年7月下旬
県、昭和45年9月30日～10月1日2日間

④ 会 場 地区、各地区ごとに設定した16会場
県、いわき市立平第五小学校

(2) 中学校教育研究協議会特別教育活動部会

① 研究主題

自主性を高める学級活動の指導過程をどう組織したらよいか。

② 主催 県教育委員会、県中学校教育研究会
関係市町村教育委員会

③ 期 日 地区、昭和45年7月下旬
県、昭和45年9月28日～29日の2日間

④ 会 場 地区、各地区ごとに設定した16会場
県、いわき市立平第一中学校

(3) 県教育委員会が指導した昭和45年度、特別教育活動、指導の重点

特別教育活動は、教師と児童・生徒および児童・生徒相互の人間な接触を基盤とし、望ましい「集団活動」を通して「心身の調和的な発達」や「個性の伸長」、「協力してよりよい生活を築こうとする実践的な態度」の育成を旨とするところにある。

児童・生徒の積極的な参加を通して、より豊かな学校生活が展開されるよう、学校の創意くふうがなされなければならない。

① 指導の体制を確立する

イ. 目標を正しく理解し、内容・方法に関して全職員の間で共通理解を深める。

ロ. 指導が組織的に行なわれるよう、学校運営全体について検討し、問題点を明らかにして改善を図る。

ハ. 前年度の指導の結果を反省するとともに、年間指導計画をつぎの点から再検討して、改善を図る。

◎ 特別教育活動の目標が明らかにされ、正しくとらえられているか。

○ 特別教育活動の内容が、それぞれ明確にされ、相互の関連が明らかにされているか。

○ 地域の特性や、学校の教育目標との関連が生かされているか。

○ 発達に即した活動や、個人差に応じた配慮がなされているか。

○ 弾力性についてじゅうぶん配慮されているか。

○ 各教科および、道徳、学校行事等の関連が考えられているか。

○ 各学年にわたる計画が、発展的に考えられているか。

② 各内容ごとの指導の重点

イ. 小 学 校

○ 児童会活動

児童が自分たちの学校生活をさらに向上発展させようとする意欲を持って、自発的・自治的に話し合いを行なうようにさせる。この場合、ひとりひとりに責任と仕事の分担を明らかにして活動させ、集団